

調査速報

タイ自動車市場月次統計（2017年9月）

遂に内需が本格的な回復局面へ。中近東向け輸出低迷も和らぎ、年産200万台市場への復活が確かなものに

主任研究員  
深尾 三四郎  
045-225-2375  
fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 9月国内生産台数（季調値）は前月比ほぼ横ばいの年率216万台。輸出減少を内需拡大が相殺。
- 輸出については中近東向けが3年ぶりに前年比プラス転換。内需は大幅な増加。
- 17年の生産・輸出・国内販売は業界見通しを上回る公算。良好なニュースフローが続こう。

タイ国内市場はインラック政権による新車購入支援策の「呪縛」からようやく解かれた可能性

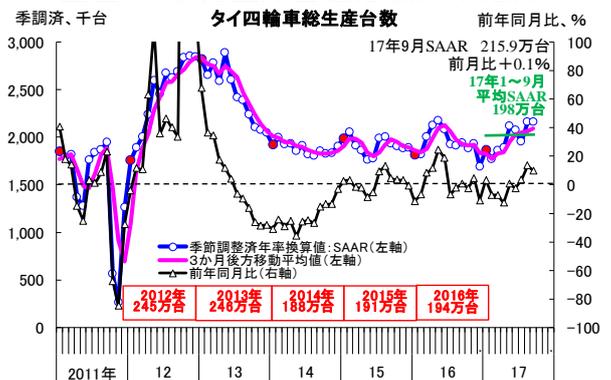
タイ工業連盟 (Federation of Thai Industries : 以下、FTI) が発表した2017年9月の四輪車総生産台数は、前年同月比9.9%増と3か月連続で前年超えした。季節調整済年率換算値(当社試算、以下 SAAR)は前月比ほぼ横ばいの215.9万台となったが、2か月連続で年率200万台を超えて高水準を維持した(図表1)。輸出台数のSAARが前月比で減少した一方、国内販売が伸長したことが、生産高止まりの背景にある。

9月の総輸出台数は前年同月比7.2%増と、14か月ぶりに前年比プラスとなった8月に続き9月も前年超えとなった。SAARは前月比1.5%減の120.7万台と減少したが、年率120万台を超える水準で良好なパフォーマンスと言える(図表2)。3か月後方移動平均値は5か月連続で増加しており、輸出の増加基調が継続している。仕向け地別輸出台数の四半期の動きをみると、第3四半期(7~9月)の全世界向け輸出は5四半期ぶりに前年同期比で増加に転じ、中でも地域別で最大の構成比を誇る豪州・オセアニア向けの輸出が大きく伸長したことに加え、中近東向けの落ち込みが和らいだことが貢献した(図表3)。なお、直近9月単月の中近東向け輸出台数は前年同月比7.9%増と3年ぶりのプラスと、漸く持ち直している。

国内販売が大きく増加したことはポジティブサプライズである。9月の国内販売台数は前年同月比21.9%増と9か月連続の前年超えとなり、SAARも前月比20.6%増の99.3万台と大幅に増加した(図表4)。なお、年率99万台という極めて強い需要水準となったのは2014年4月以来である。相次ぐ新モデルの市場投入と販売促進策の強化が需要増に寄与したことに加えて、インラック政権時のFirst-time Car Buyer Programme(新車購入時税還付制度:2011年10月~2012年12月実施、新車購入後5年間は乗り換え禁止)の足かせが解かれ、買い替え需要が本格的に回復した可能性がある。9月の旺盛な需要が持続するかどうか引き続き要注視だが、今のところ、来年の市場見通しを立てる上では明るい材料と言えよう。図表5で主要セグメント別の国内販売台数の推移をみると、すべてのセグメントのSAARが上向いていることは、腰のしっかりした需要回復となっていると予感させるものでもあり、良好な内容である。

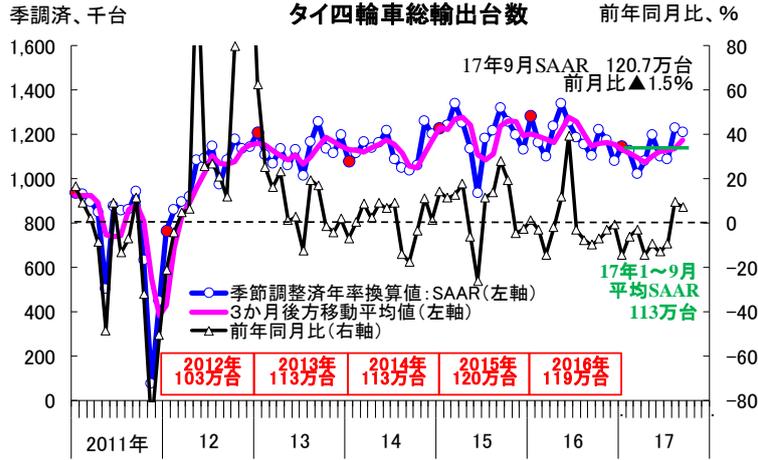
2017年1~9月の平均SAARは、生産台数が198万台、輸出台数が113万台、国内販売台数が86万台となっている。直近9月のSAAR実績を年末まで引き延ばすと、17暦年の生産台数は202万台、輸出台数は115万台、国内販売は90万台となり、FTI予測(それぞれ193/110/83万台)を上回る見通しである。従って、今後、タイ自動車市場に関しては、関連企業の決算コメントやメディアにてポジティブなニュースフローが発生する蓋然性が高く、要注目である。

図表1 9月生産台数は高水準維持



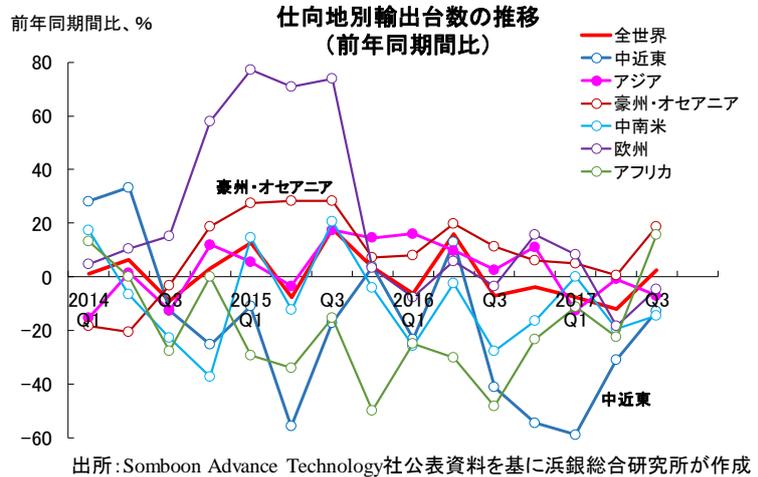
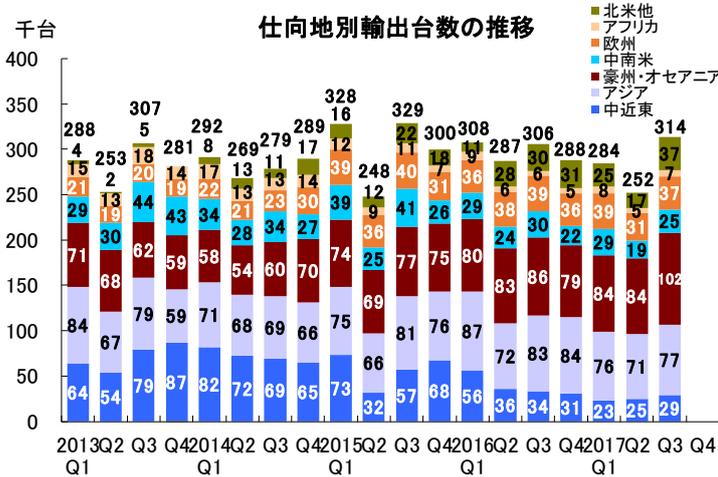
注1: 赤塗リマーカーは各年の1月実績値。  
注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表2 輸出台数 (SAAR) は120万台超え続く



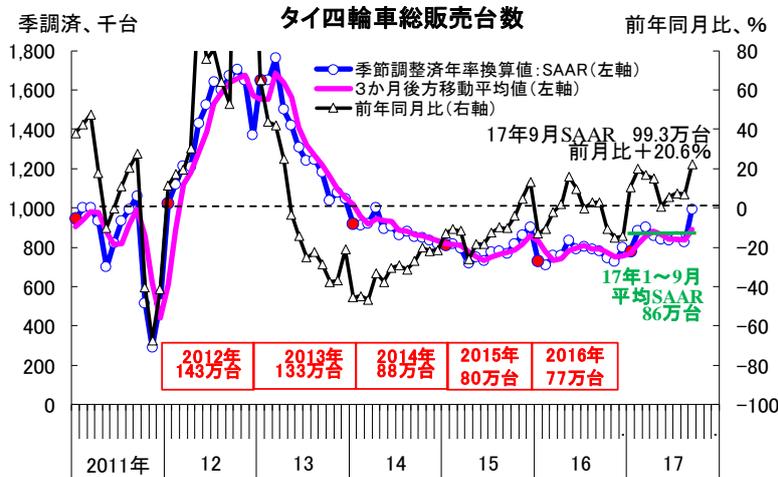
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表3 中近東向けの輸出が漸く持ち直し



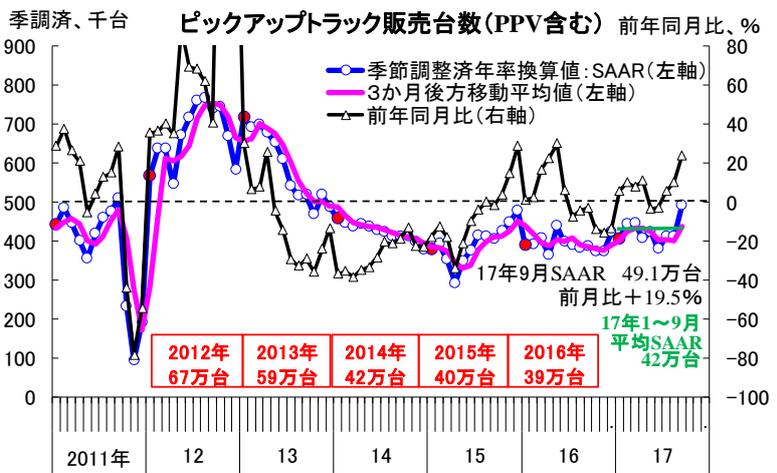
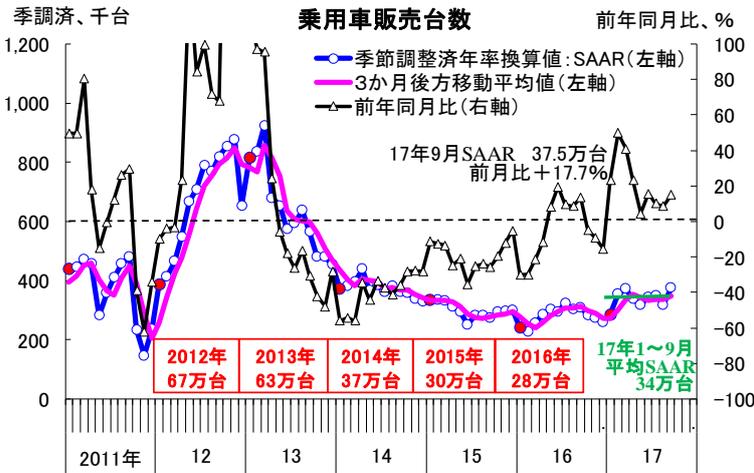
出所: Somboon Advance Technology社公表資料を基に浜銀総合研究所が作成

図表4 9月国内販売台数は急増



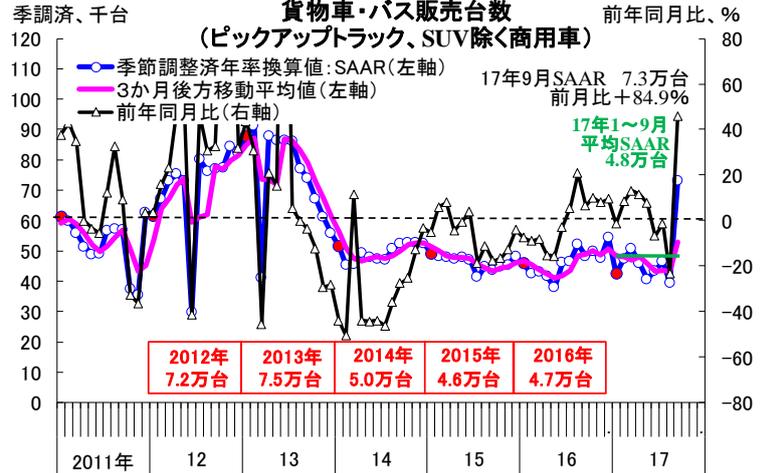
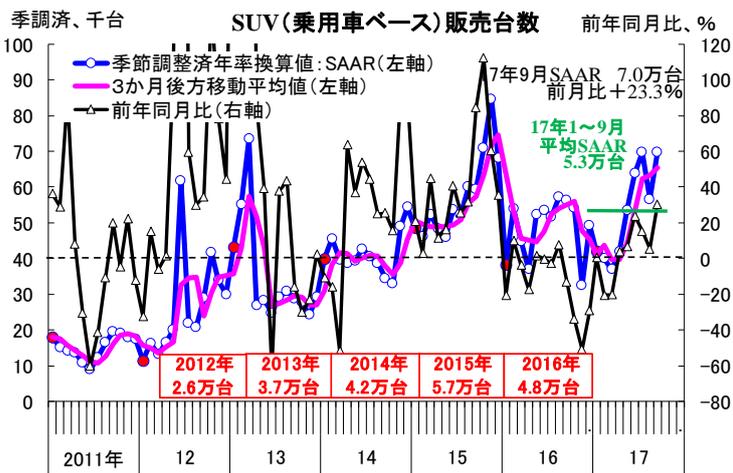
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表5 全セグメントで国内販売が力強く伸長



注1: 赤塗リマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

注1: 赤塗リマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成



注1: 赤塗リマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

注1: 赤塗リマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。